

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名	
家具展 2016 ～モノづくり/ヒトづくり～	
実施日	
平成 28 年 11 月 5 日 (土) 9:00～17:00～ 平成 28 年 11 月 6 日 (日) 9:00～17:00	
実施場所	
工学部コミュニケーションギャラリー (ガレリア)	
企画代表者の氏名, 所属	
氏名：榊原 康太	所属：大学院工学研究科 建築学専攻
構成員の氏名	
谷口元裕	桑原あゆみ
前田拓哉	松本雄大
小野公治	松本聖也
川原梓	
木戸口美幸	橋本圭四郎
松下健祐	
指導的立場の教員氏名	
岡河 貢 (建築設計学研究室)	
企画の目的及び内容	
家具展を開催することで、家具づくりを通して来場者がもっと身近にモノづくりを体験する場所をつくることを目的としています。家具は生活空間に密着したモノであり、自分にあった家具を暮らしに取り入れることで、その生活空間を豊かにすることができます。その家具を自分の手で作り上げていく過程の中で、その製作技術を仲間と教えあうなど、来場者と交流することができるコーナーを設けることで、モノづくりとヒトづくりを図っています。	
来場者数	
11 月 5 日 (土)	203 人
11 月 6 日 (日)	245 人
主催・後援団体 (外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模)	
活動の内容 (準備, 広報活動, 当日の様子等)	
<p>自分で製作した家具を大学祭で展示するために、平日の 6 時から 9 時までという時間制限に加えて 1 ヶ月という短い期間の中で仕上げようとお互いに支え合いながら活動を続けていました。この家具展で知り合った人同士で、チームを組むことで、つくるものを決めることから話し合い、制作中にも一人が材料を押しさえもう一人が作業するといったような光景がみられたので、ヒトづくりをうまく実現できているのではないのかと思えました。また、必ず 2 人以上で作業するようにしたので、無事故で大学祭を迎えることができました。</p> <p>大学祭当日には、子供たちのために木のパズルや、木で作ったおもちゃで遊ぶことができる機会を設けました。製作した家具の展示に来ると同時にそのパズルの仕組みや解き方に熱中する親子や大学生が多く、モノづくりには年齢に関係なく引き込まれる魅力があることを実感しました。このおかげで、昨年よりも多くの来場者の方に来ていただくことができました。</p> <p>うまく生かしきれなかったのが広報活動で、かぐてんかいさいのチラシやもみじへの掲載、SNS などの利用をすればもっと人を引き込むことができたのではないかと思います。また、今回では他学部からの参加が少なかったもので、積極的に活動の呼びかけをすべきだと思えました。</p>	

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

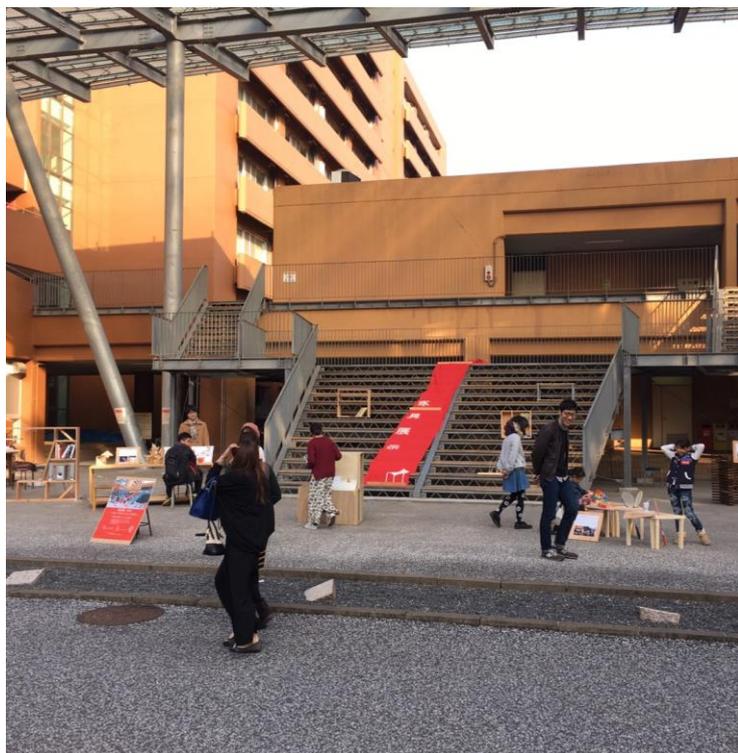
アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

成果・課題

今年の家具展に参加していただいた人が製作した家具は、使い方が決まっていない家具というテーマを選定したこともあり、椅子や棚のようにある程度の大きさがある家具が多かったです。どの作品も大学生ならではのユニークな作品で、来場者の方にも興味を持ってもらうことが多いように感じました。

近年では様々なもののハイブリッド化が進み、いくつかの家具も機能がハイブリッドされたものがつくられています。そのような時代の中で、学生として提案するいい機会であったと思います。実際にものをつくるまでどのような工程があり、どのようなことを気にしなければならないのか、モノ作りの難しさを学び、その工程でひとつづくりをつくることのできた家具展だったのではないかと思います。

実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。
E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)